

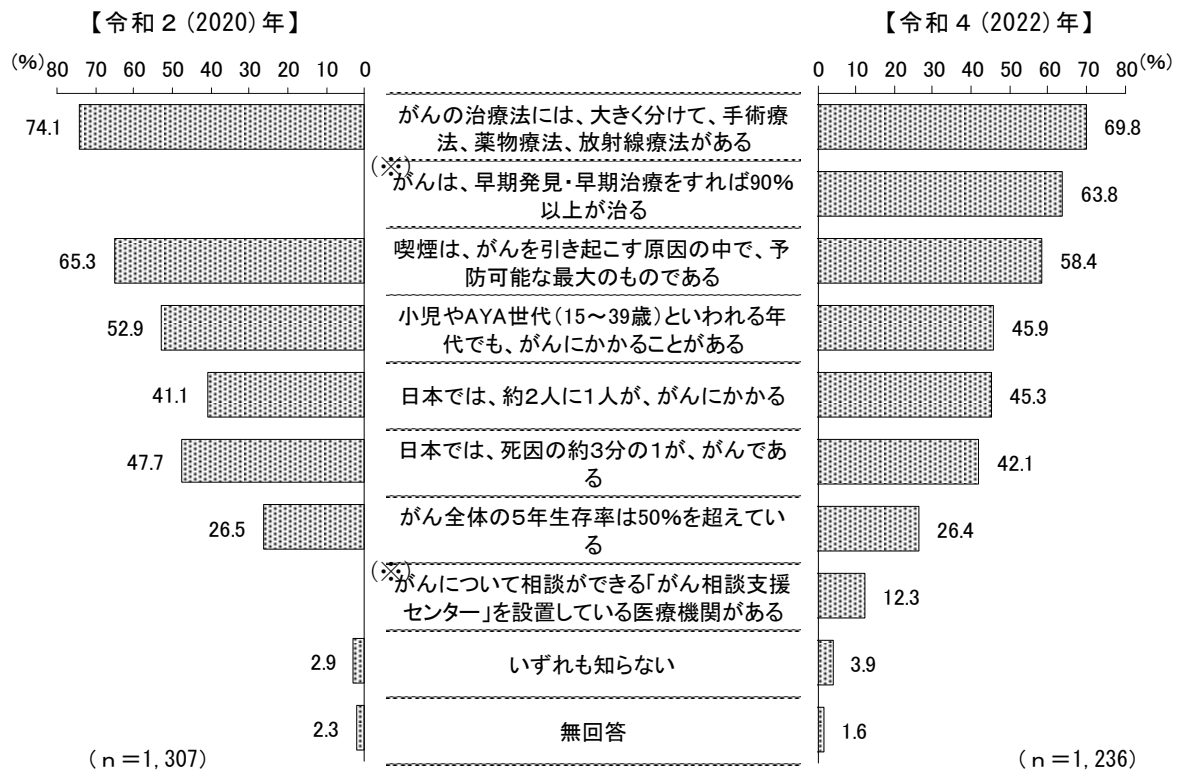
## 13 とちぎのがん対策について

### (1) がんについての認知度

問37 がんについてあなたが知っていることを、次の中からいくつでも選んでください。

[n=1,236]

1	日本では、約2人に1人が、がんにかかる	45.3%
2	日本では、死因の約3分の1が、がんである	42.1
3	小児やAYA世代（15～39歳）といわれる年代でも、がんにかかることがある	45.9
4	がんの治療法には、大きく分けて、手術療法、薬物療法、放射線療法がある	69.8
5	がんは、早期発見・早期治療をすれば90%以上が治る	63.8
6	がん全体の5年生存率は50%を超えている	26.4
7	喫煙は、がんを引き起こす原因の中で、予防可能な最大のものである	58.4
8	がんについて相談ができる「がん相談支援センター」を設置している医療機関がある	12.3
9	いずれも知らない (無回答)	3.9 1.6



(※) 「がんは、早期発見・早期治療をすれば90%以上が治る」、「がんについて相談ができる「がん相談支援センター」を設置している医療機関がある」は、今回調査で追加した選択肢である。

全体でみると、「がんの治療法には、大きく分けて、手術療法、薬物療法、放射線療法がある」(69.8%)が7割弱で最も高く、次いで「がんは、早期発見・早期治療をすれば90%以上が治る」(63.8%)、「喫煙は、がんを引き起こす原因の中で、予防可能な最大のものである」(58.4%)の順となっている。

前回(令和2(2020)年)の調査結果と比較すると、大きな傾向の違いはみられない。

[性別・性／年齢別]

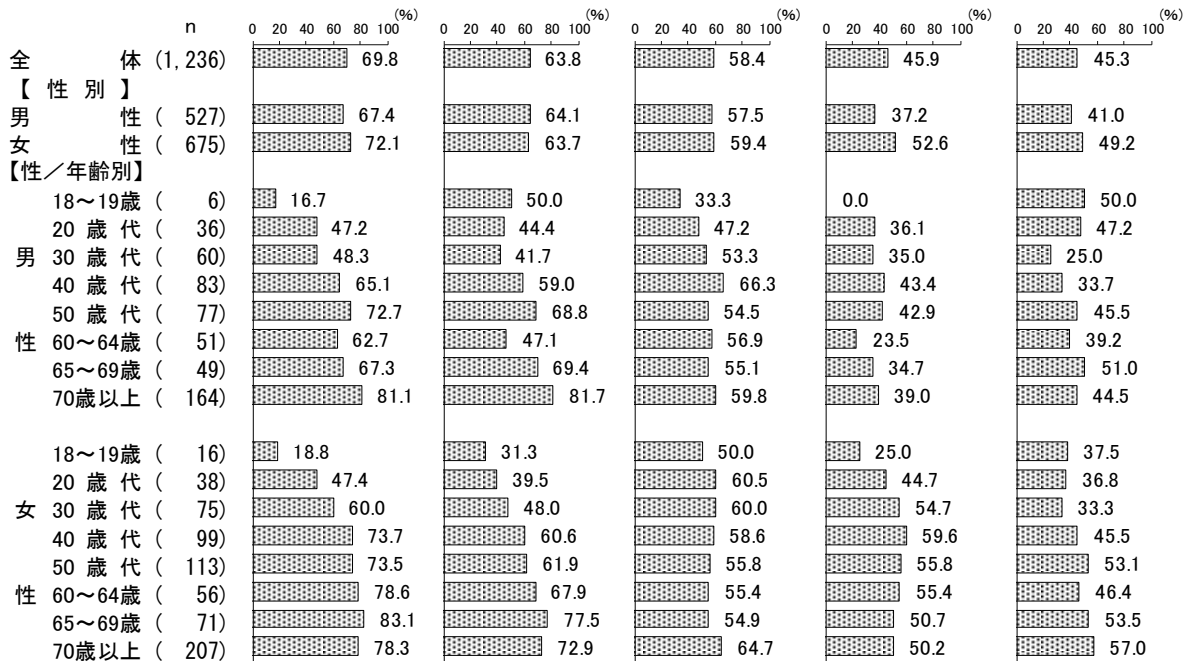
□がんの治療法には、大きく分けて、手術療法、薬物療法、放射線療法がある

□がんは、早期発見・早期治療をすれば90%以上が治る

□喫煙は、がんを引き起こす原因の中で、予防可能な最大のものである

□小児やAYA世代（15～39歳）といわれる年代でも、がんにかかることがある

□日本では、約2人に1人が、がんにかかる

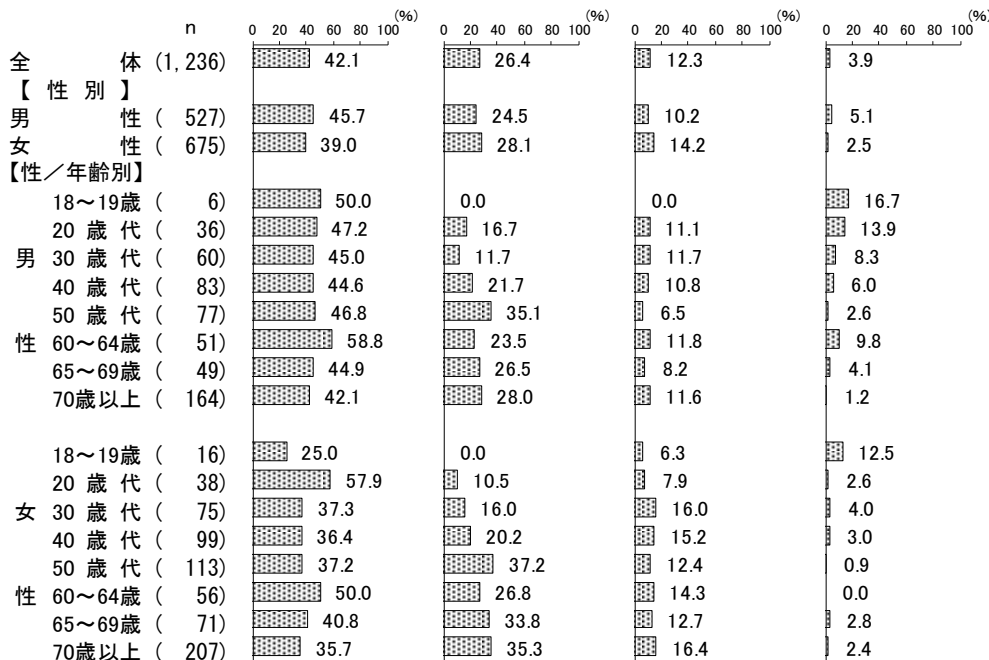


□日本では、死因の約3分の1が、がんである

□がん全体の5年生存率は50%を超えている

□がんについて相談ができる「がん相談支援センター」を設置している医療機関がある

□いずれも知らない

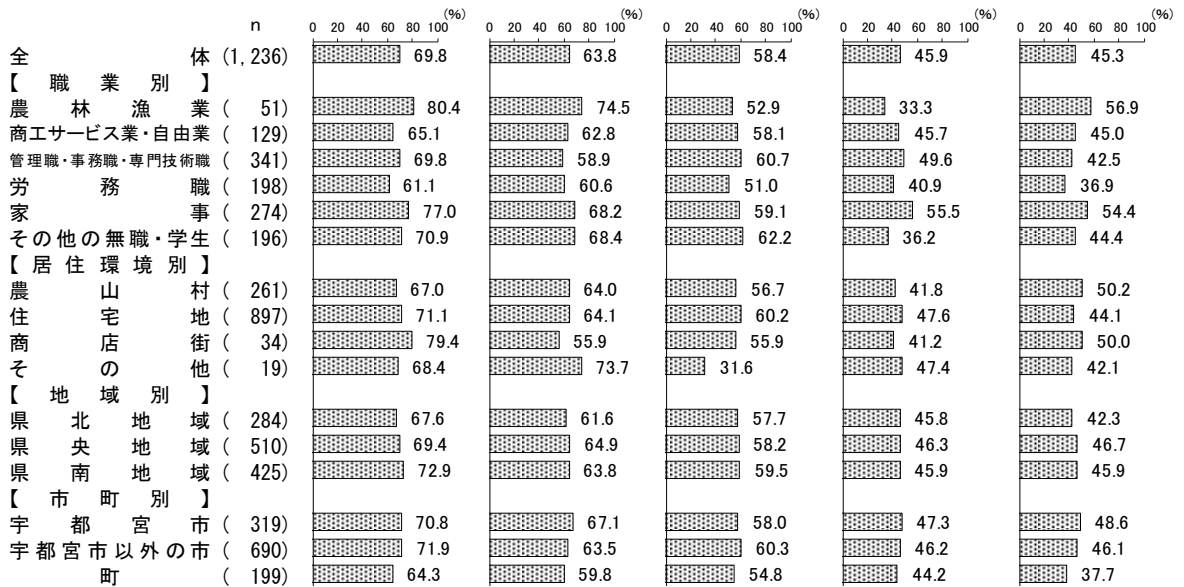


性別でみると、「小児やAYA世代（15～39歳）といわれる年代でも、がんにかかることがある」では〈女性〉（52.6%）が〈男性〉（37.2%）より15.4ポイント高くなっている。「日本では、約2人に1人が、がんにかかる」では〈女性〉（49.2%）が〈男性〉（41.0%）より8.2ポイント高くなっている。「日本では、死因の約3分の1が、がんである」では〈男性〉（45.7%）が〈女性〉（39.0%）より6.7ポイント高くなっている。

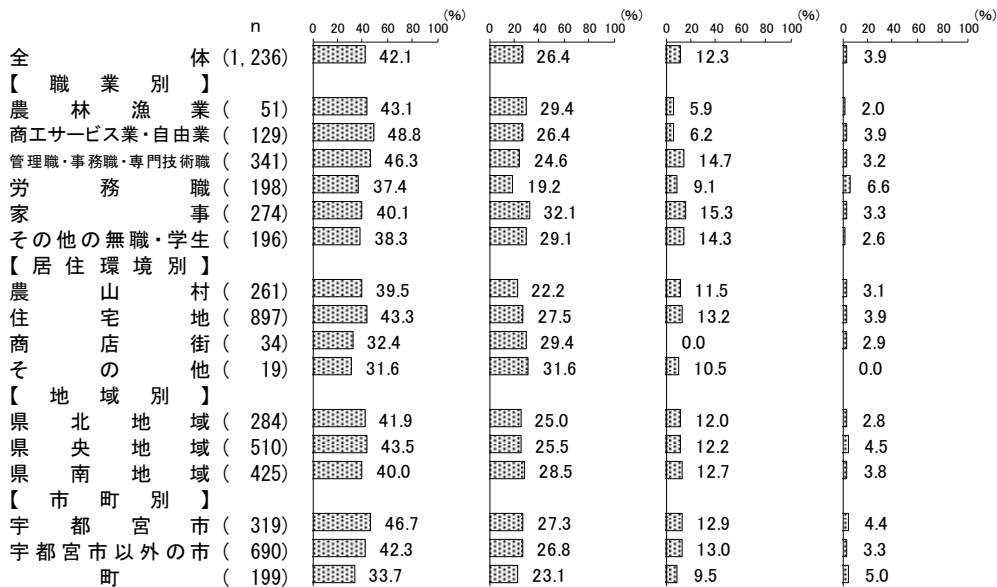
性／年齢別でみると、「がんの治療法には、大きく分けて、手術療法、薬物療法、放射線療法がある」では〈女性65～69歳〉が83.1%、〈男性70歳以上〉が81.1%と高くなっている。「がんは、早期発見・早期治療をすれば90%以上が治る」では〈男性70歳以上〉が81.7%、〈女性65～69歳〉が77.5%と高くなっている。「小児やAYA世代（15～39歳）といわれる年代でも、がんにかかることがある」では〈女性40歳代〉が59.6%と高くなっている。「日本では、約2人に1人が、がんにかかる」では〈女性70歳以上〉が57.0%と高くなっている。「日本では、死因の約3分の1が、がんである」では〈男性60～64歳〉が58.8%、〈女性20歳代〉が57.9%と高くなっている。「がん全体の5年生存率は50%を超えている」では〈女性50歳代〉が37.2%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別・市町別]

□がんの治療法には、大きく分けて、手術療法、薬物療法、放射線療法がある  
 □がんは、早期発見・早期治療をすれば90%以上が治る  
 □喫煙は、がんを引き起こす原因の中で、予防可能な最大のものである  
 □小児やAYA世代(15~39歳)といわれる年代でも、がんにかかることがある  
 □日本では、約2人に1人が、がんにかかる



□日本では、死因の約3分の1が、がんである  
 □がん全体の5年生存率は50%を超えている  
 □がんについて相談ができる「がん相談支援センター」を設置している医療機関がある  
 □いずれも知らない



職業別でみると、「がんの治療法には、大きく分けて、手術療法、薬物療法、放射線療法がある」では〈農林漁業〉が80.4%と高くなっている。「がんは、早期発見・早期治療をすれば90%以上が治る」では〈農林漁業〉が74.5%と高くなっている。「日本では、約2人に1人が、がんにかかる」では〈農林漁業〉が56.9%と高くなっている。

居住環境別でみると、「がんの治療法には、大きく分けて、手術療法、薬物療法、放射線療法がある」では〈商店街〉が79.4%と高くなっている。一方、「日本では、死因の約3分の1が、がんである」では〈商店街〉が32.4%と低くなっている。

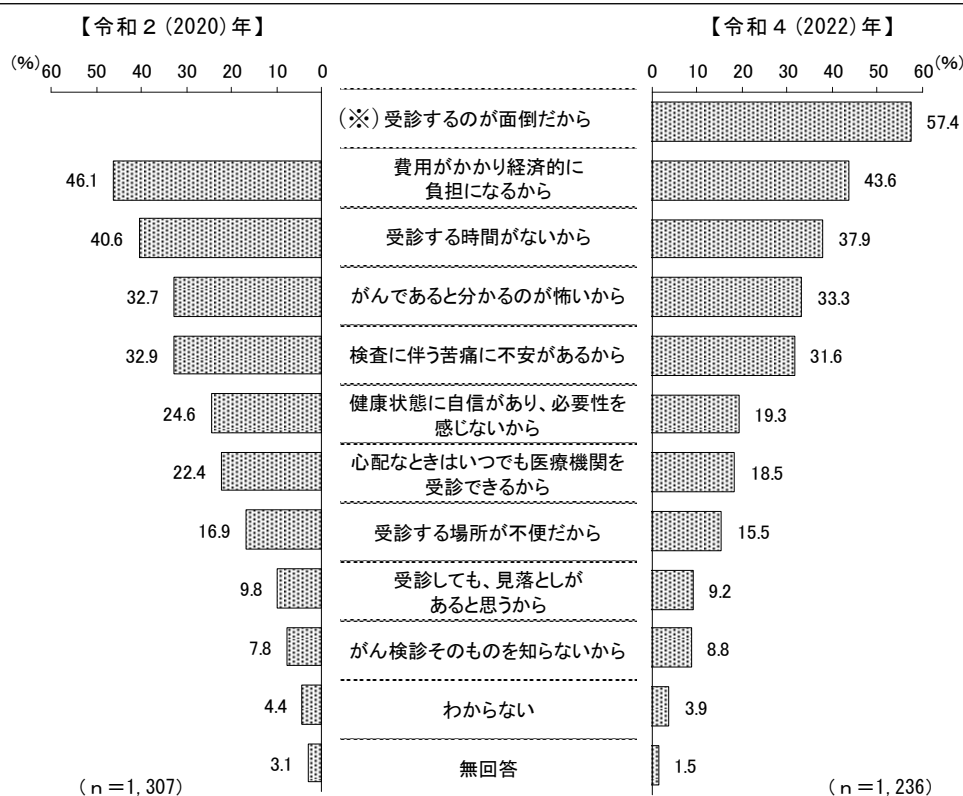
地域別・市町別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

## (2) がん検診を受診しない理由

問38 がん検診の受診率は40～50%程度となっていますが、欧米諸国と比較すると依然として低い状況です。あなたは、多くの方ががん検診を受けないのはなぜだと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。

[n=1,236]

1	がん検診そのものを知らないから	8.8%
2	受診するのが面倒だから	57.4
3	受診する時間がないから	37.9
4	受診する場所が不便だから	15.5
5	費用がかかり経済的に負担になるから	43.6
6	健康状態に自信があり、必要性を感じないから	19.3
7	検査に伴う苦痛に不安があるから	31.6
8	心配なときはいつでも医療機関を受診できるから	18.5
9	がんであると分かるのが怖いから	33.3
10	受診しても、見落としがあると思うから	9.2
11	わからない	3.9
	(無回答)	1.5

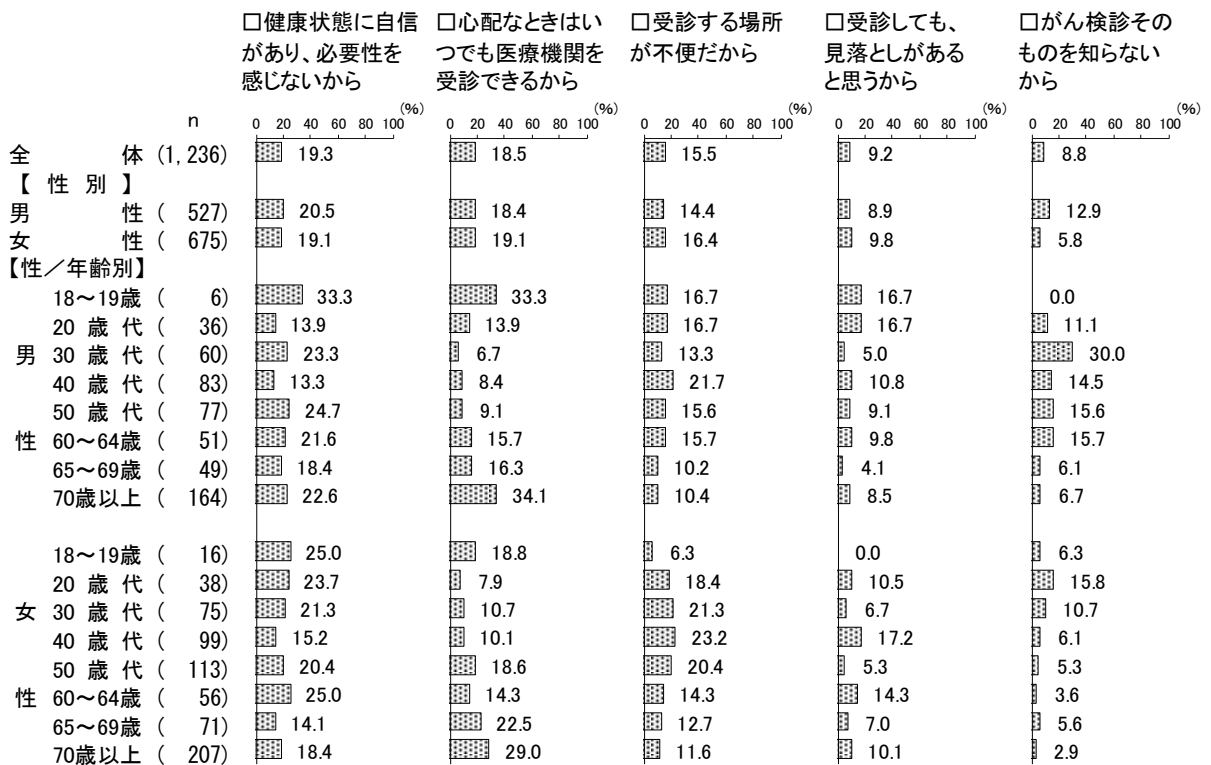
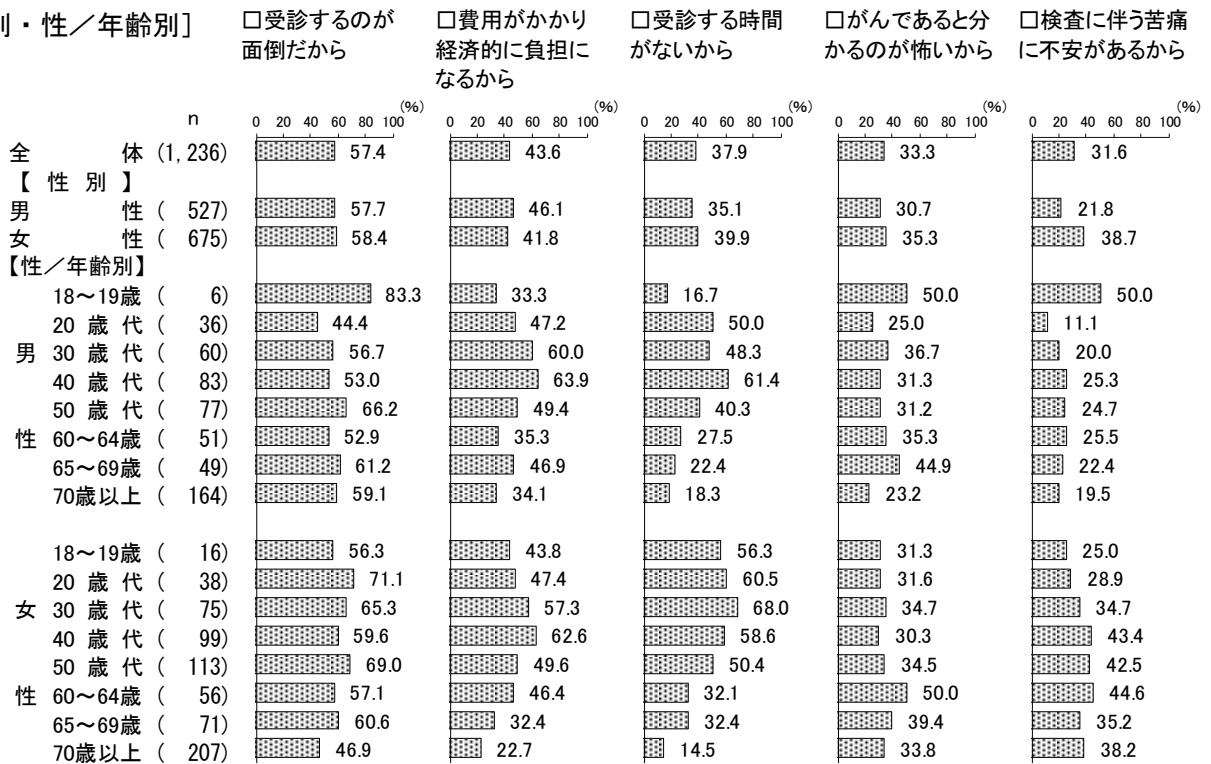


(※)「受診するのが面倒だから」は、今回調査で追加した選択肢である。

全体でみると、「受診するのが面倒だから」(57.4%)が5割台半ばを超えて最も高く、次いで「費用がかかり経済的に負担になるから」(43.6%)、「受診する時間がないから」(37.9%)の順となっている。

前回(令和2(2020)年)の調査結果と比較すると、大きな傾向の違いはみられない。

[性別・性／年齢別]

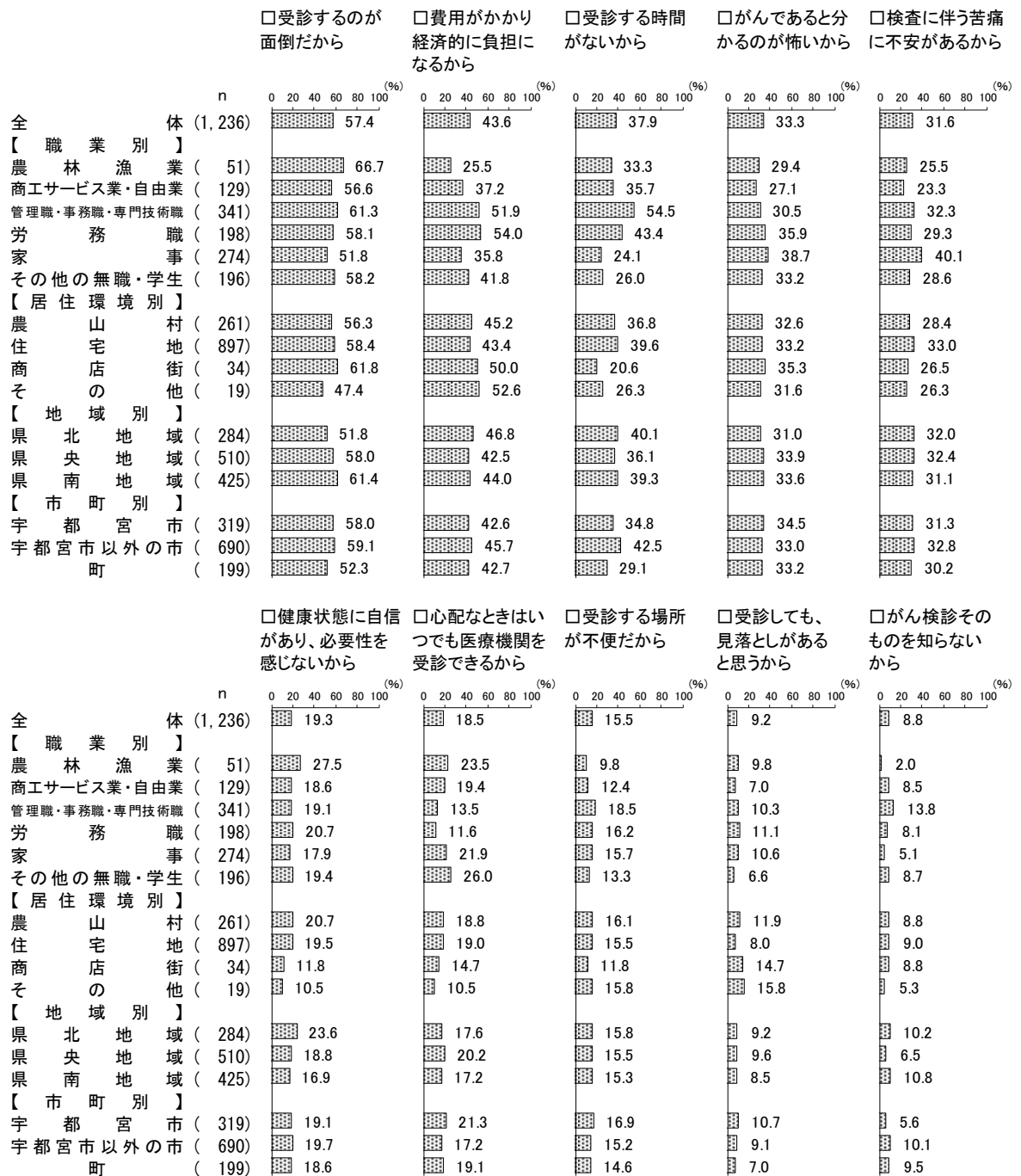


性別でみると、「検査に伴う苦痛に不安があるから」では〈女性〉(38.7%)が〈男性〉(21.8%)より16.9ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「受診するのが面倒だから」では〈女性20歳代〉が71.1%、〈女性50歳代〉が69.0%と高くなっている。「費用がかかり経済的に負担になるから」では〈男性40歳代〉が63.9%、〈女性40歳代〉が62.6%、〈男性30歳代〉が60.0%と高くなっている。「受診する時間がないから」では〈女性30歳代〉が68.0%、〈男性40歳代〉が61.4%、〈女性20歳代〉が60.5%、〈女性40歳代〉が58.6%と高くなっている。「がんであると分かるのが怖いから」では〈女性60～64歳〉が50.0%、〈男性65～69歳〉

が44.9%と高くなっている。「がん検診そのものを知らないから」では〈男性30歳代〉が30.0%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別・市町別]



職業別でみると、「費用がかかり経済的に負担になるから」では〈労務職〉が54.0%と高くなっている。「受診する時間がないから」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が54.5%と高くなっている。

居住環境別でみると、「費用がかかり経済的に負担になるから」では〈商店街〉が50.0%と高くなっている。

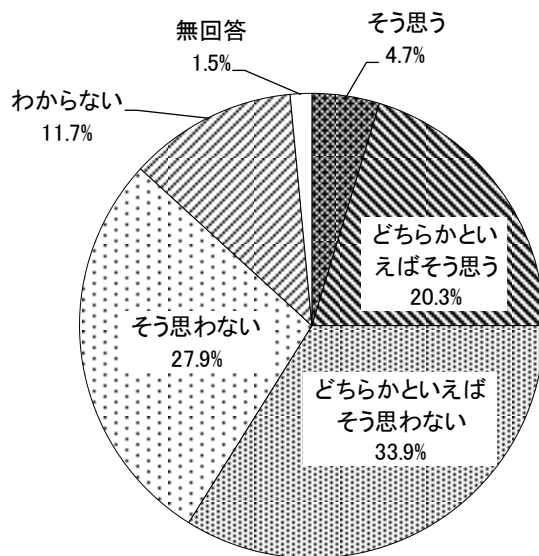
地域別・市町別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

### (3) がん治療と仕事の両立

問39 現在の日本の社会では、がんの治療や検査のために2週間に1度程度病院に通う必要がある場合、働き続けられる環境だと思いますか。次の中から1つ選んでください。

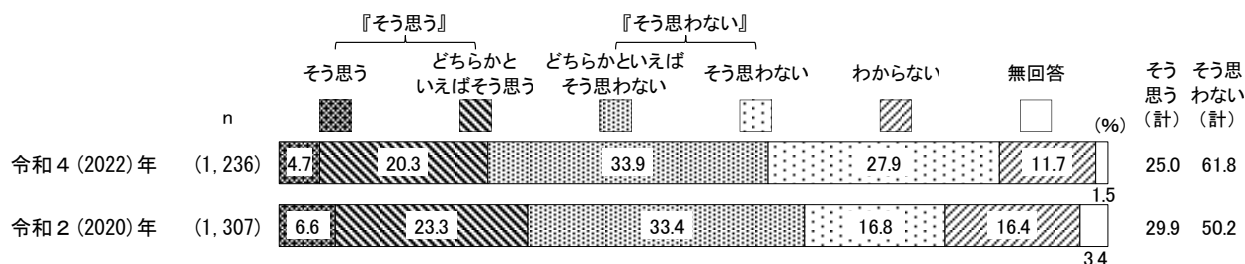
[n=1,236]

1	そう思う	4.7%	4	そう思わない	27.9%
2	どちらかといえばそう思う	20.3	5	わからない	11.7
3	どちらかといえばそう思わない	33.9	(無回答)		1.5



(n=1,236)

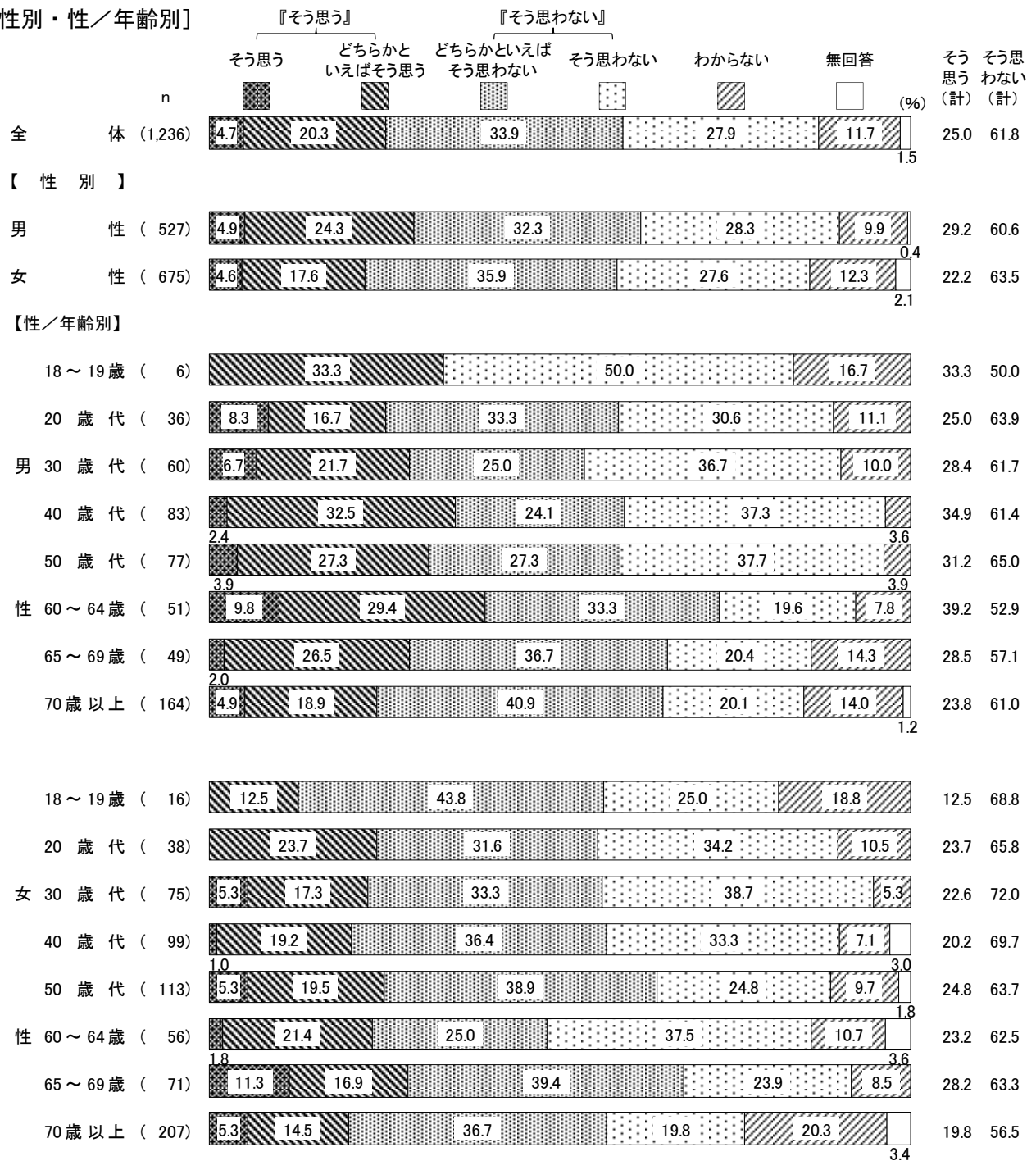
全体で見ると、「そう思う」(4.7%)と「どちらかといえばそう思う」(20.3%)の2つを合わせた『そう思う』(25.0%)が2割台半ばとなっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(33.9%)と「そう思わない」(27.9%)の2つを合わせた『そう思わない』(61.8%)が6割強となっている。



前回(令和2(2020)年)の調査結果と比較すると、『そう思わない』が11.6ポイント増加している。



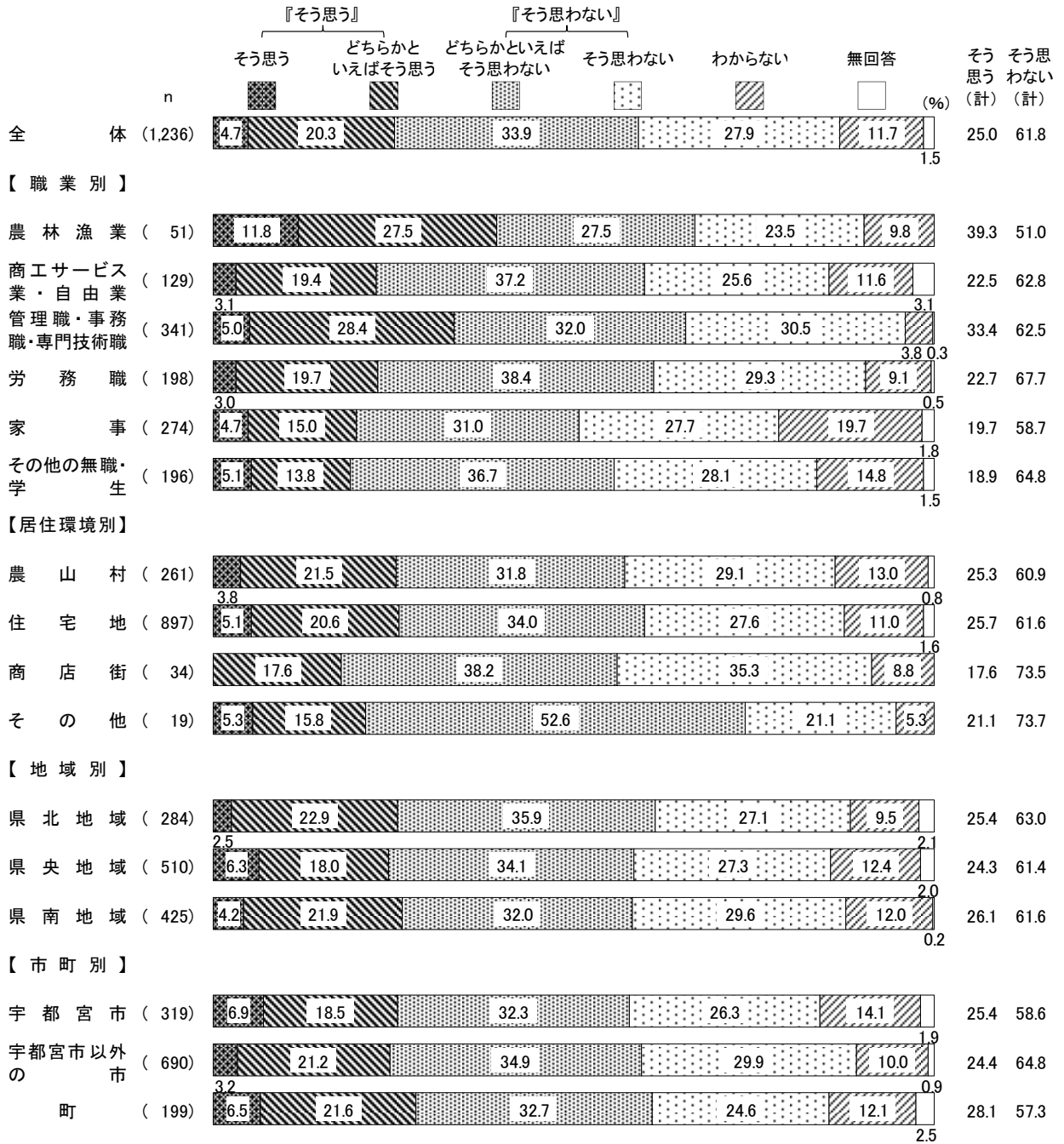
[性別・性／年齢別]



性別でみると、『そう思う』では〈男性〉(29.2%)が〈女性〉(22.2%)より7.0ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、『そう思う』では〈男性60～64歳〉が39.2%と高くなっている。『そう思わない』では〈女性30歳代〉が72.0%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別・市町別]



職業別でみると、『そう思う』では〈農林漁業〉が39.3%と高くなっている。

居住環境別でみると、『そう思わない』では〈商店街〉が73.5%と高くなっている

地域別・市町別でみると、大きな傾向の違いはみられない。